

事務事業名		女子大学生市内居住推進事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	3 魅力と活力ある産業づくり					担当	担当部	総合政策部	担当課	総合戦略推進室
	政策	2 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり					組織	担当係	総合戦略推進担当	担当課長名	大木 聡
	施策	3 都市ブランド戦略の推進					新規事業・継続事業		新規事業		
	基本事業	2 「佐野ブランド」の確立					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	1338	一般	2	1	7	女子大学生市内居住推進事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
	実施方法		直営		事業分類		現金・現物給付事業				
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	H28年度～H31年度		根拠法令等						
	リーディングプロジェクト		該当なし		市長マニフェスト		該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成28年度実績(平成28年度に行った主な活動内容)						
若年女性の市内居住促進策として、補助金交付事業を実施し、市外在住の女子大生等が市内に居住することを支援する。  女子大生の市内居住促進策として連絡協議会を設置し、市内企業・団体との協力を図る。		女子大学生市内居住促進補助金交付決定数 7件 市内短大へ事業内容のPRを行い、事業の周知を図った。 また、企業・団体と連携し、申請を受け付け、交付を行った。						
		活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
		協議会開催回数	回				1	1
		協力企業・団体数	団体				5	6
		事業周知回数	回				2	3

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市内居住を希望する女子大学生等		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
		佐野日本大学短期大学学生数(女性)	人				402	410

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

佐野市に安心して住んでもらう。		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
		補助金交付者	人				7	20

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

佐野市を住み続けたい、暮らしてみたいまちにする。		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
		佐野市に住み続けたいと思う市民の割合	%				85.0	86.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円				760	3,600			
	事業費計(A)	千円	0	0	0	760	3,600			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
							補助金	760	補助金	3,600
	人件費	人					1	1		
	のべ業務時間	時間				30	30			
人件費計(B)	千円	0	0	0	115	115				
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	0	875	3,715				

事務事業名	女子大学生市内居住推進事業	担当部	総合政策部	担当課	総合戦略推進室	担当係	総合戦略推進担当
-------	---------------	-----	-------	-----	---------	-----	----------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	人口減少が進む本市において、若年女性の市内居住を促進し、併せて地域活力の向上を図るため、「佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の具体的施策として位置づけた。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国が平成26年12月に人口減少の克服と地域活力の向上を目指し、「地方創生まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	市議会より「なぜ、女子大学生に限定するのか」との質問があった

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	市外に住んでいる若年女性が市内に安心して住んでいただくことを促進することは、佐野市の新たな魅力の発掘につながり、市内居住の促進により、住み続けたい、暮らしてみたいまちにすることが、基本事業「佐野ブランドの確立」につながるものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	女子大学生の市内居住を促進することは、佐野ブランドの確立につながるものであるから、市が行わなくてはならない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	補助金等の交付を受けることのできる者を対象として設定した。また指標設定のため、本事業に興味、関心のある者を対象として設定した。本事業は、市外に住む女子大生等が市内に居住してもらうことが目的であるため、意図として設定した。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	制度の周知、協力参加する企業、団体の増加
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	本市の人口減少克服に向けた取組であり、転入者に対するの奨励事業であるため、受益者負担を求める必要はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間が終わった段階で終了となる。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
事業のやり方改善(成果向上の見直し)		廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。	学校や企業の理解や協力体制																					
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"> </td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td> </td> <td>○</td> <td> </td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td> </td> <td> </td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下	×	×	×	
					コスト																			
			削減	維持	増加																			
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下	×	×	×																				
事業の周知方法を学校等と連携して行うことにより、成果が向上する																								